

# 檜洞丸山行記録

記:鳥切昇治



期 日:2021年5月23日(日) 天候:晴・曇  
山 域:丹沢 檜洞丸(1601m)  
メンバー:鳥切昇治(81歳)単独  
行動記録

今日(5/23)が西丹沢山開きとは知らずに西丹沢に来た。箒沢部落を過ぎると道路脇に駐車している車が次第に多くなり西丹沢ビジターセンター付近は空き地が全て埋まっていて大勢の人がいる。仕方なく箒沢公園橋まで戻り空きスペースに車を入れる。西丹沢ビジターセンターで山開きの準備をしている人達を見て混雑に納得した。

晴れ間が見えるが雲が多い。通常ルートのツツ



西丹沢ビジターセンター

ジ新道に入る。登山者が多い。ゆっくりしたペースで歩くが足が重く汗をかく。ゴーラ沢出合を通過し展望台に向うが途中で一息入れる。



ゴーラ沢出合



ガスが湧いて来た

展望台から富士山は見えなかった。ツツジ新道上部まで登って来ると赤・白のヤシオツツジの花が道にいっぱい落ちている。上を見ると青空に白ヤシオツツジが見頃である。



満開の白ヤシオツツジ



登山者で賑わう檜洞丸山頂

稜線に出ると東側からガスが湧いてきている。白ヤシオツツジは咲いているが赤ヤシオツツジは蕾で目立たない。檜洞丸山頂は大勢の登山者で思い思いに休んでいる。山頂の赤ヤシオはほとんど蕾で一部しか咲いていない。写真撮ってから石棚山方面に向う。ツツジ新道分岐を過ぎると登山者が少なくなり静かな山歩きになる。新緑のブナ林が時折ガスに包まれる。

いつも昼食をとるベンチには先客がいたが、間もなく去って行った。時折登山者が通るが、ブナ林の新緑に囲まれて昼食をとる。いつ来てもこの雰囲気癒される。

昼食後、石棚山方面に向いのんびり下る。石棚山を過ぎると急な下りとなる。ヤブ沢ノ頭まで上り下りがあるが後はひたすら下って行く。



新緑のブナ林の中を歩く



何時ものベンチでランチタイム



石棚山



ガスに包まれるブナ林

板小屋沢まで下りると沢沿いに落葉が敷き詰められた道を下り、堰堤の脇の鉄梯子を下って沢を渡ると箒沢公園橋も近い。

箒沢公園橋を渡り、車の所に戻って来た。ツツジ新道を登り始めた時は檜洞丸まで登れないのではないかと心配したが、次第に体が慣れて来て楽しく歩いて来られた。

帰路は往路と同じルート来たが、江ノ島付近で大渋滞となり、何とか無事に自宅に帰り着いた。コロナ禍でも日曜日はこんなに観光の車が多いのに驚かされた。

#### コースタイム

自宅 4:44—6:21 西丹沢ビジターセンター 7:08—ツツジ新道入口 7:15—7:52 ゴーラ沢出合—8:42 展望台 8:52—9:55 稜線の分岐—10:10 檜洞丸 10:19—10:44 テシロノ頭 10:50—11:00 昼食地 11:37—石棚山 11:55—13:30 箒沢公園橋 13:48—16:40 自宅

以上